福笹に託す商売繁盛の願い

大にぎわい本覚寺のえびす祭

農作物の豊作を願う米俵や商売繁盛の宝船、小判など縁起物を飾りつけた福笹を売るえびす大祭が、夷神を境内に祭る鎌倉駅前の本覚寺で行われた＝写真。

福笹は3千円から1万円までであり、売れると立烏帽子を付けて着飾った福娘たちが、大きな声で「商売繁盛・家内安全お祈り申し上げます」と口上を述べる。太鼓の音も響き景気を盛り上げる。「毎年買いにきている」という中年女性は5千円の福笹を求めていた。

境内には甘酒やおでんなどの露店も並び、つきたてのモチがふるまわれた。天気もよく、身動きできないほどの人出だった。

無病息災の火柱高く燃える

鎌倉の神社などで左義長

燃え盛る炎に投げ込まれる正月の松飾りやしめ縄、古神札、破魔矢、お守りなどを燃した＝写真。

1月14日から15日にかけて、鎌倉の鶴岡八幡宮や鎌倉宮、大町八雲神社などで「どんど焼き」「左義長」などと呼ばれる小正月の祭事が行われた。

大町の八雲神社では14日早朝から、大町商店会（馬瀬秀作会長）大町八雲みこし会の人らが繰出で松飾りなどを燃した＝写真。

近くの老舗の菓子屋さんの協力も得て、硬くなったかがみもちなどを、つき直して軟らかくし、3百人分の汁粉をふるまった。厳しい冷え込みの中、飾の物などを同朝、持ち込む人も多く、温かくてほどよい甘さの汁粉は境内を埋めた人たちに喜ばれた。

古来から正月にやってきた祖先の神々（歳神）は左義長の煙りに乗って帰ると言われ、この浄火にあたると若返るとか、無病息災などの信仰もある。

ひと

「鳥とりどり」の写真を担当している

梅田（うめだ）　孝（たかし）さん

「鳥はいい。自然の美しさ、素晴らしさを教えてくれる。鳥を見ているとほっとするし、人や自然にやさしくなれる思いがする」

好評連載中の「鳥とりどり」は格調を保ちながら分かりやすく文をまとめている岡田泰明さん、それに「どこで撮ったのかと興味を抱かせる」オリジナルの写真を提供している梅田孝さんとの呼吸もぴったり。

お二人をいつか紙面で紹介しなくては、と思っているうちに06年12月2日付号で、60回まできてしまった。岡田さんは機会をみて書かせていただくとして、まず梅田さんに登場していただいた。

最初に語っているように、安らぎを得ている鳥を求めて全国を旅し、ときにはアフリカまで出かけていく。自宅には鳥類図鑑や整理された鳥のネガ、写真がいっぱい。

「かつては花鳥風月を対象にしていたが、花などの植物は幅が広く敬遠している。鳥が中心になった。本格的に撮りだしたのは会社を定年退職してから」

カメラ歴は50年ほどになる。大手製紙会社に勤め89年60歳で退いた。

その機会を待っていたように写真機材をリュックサックに詰め込み、鳥を求めて沖縄から北海道まで行脚した。

デジカメを含め10台ほど所有するが、フィルム使用のカメラは600㎜の望遠レンズを入れるとだいぶ重くなる。これにカメラを固定する三脚を含めると約10㌔になる。

渡り鳥が来る時期や場所、国内を季節によって移動する漂鳥、1年中、ほとんど同じ場所で生活する留鳥など、いま鳥の情報はインターネットやメールで手軽に入手できる時代だが、少し前までは各地にいる探鳥仲間からの連絡が頼り。

日本野鳥の会や藤沢探鳥クラブなど、5つの探鳥会に入っていて情報入手を怠らない。岡田さんともこうした会を通して知り合った。

一鳥の撮影は難しい。驚かせないように気配りしながら、ひたすらシャッターチャンスを待つ。鳥が生きているように感じる写真はあの小さな目が光っている」

年に60回は鳥の撮影にでかけ、自然の昼遣いに触れる。なかでも北海道が多く、これまでに百回は訪れている。アフリカのサファリツアーにも3回行き、タンザニアの野鳥に満喫してきた。

「どこに行っても鳥の姿が少なくなってきているのが気掛かり。自然を守る気持ちを忘れず、野鳥を楽しんでほしい」

鎌倉市手広。77歳。

（鳥の理解のため2月号から1面で掲載します。ご愛読ください）

豊漁と安全祈願の船おろし

にぎわった坂ノ下海岸

鎌倉市坂ノ下の海岸で、1月2日午前10時から正月行事の「船おろし」が行われた＝写真。

陸にあげられ、大漁旗に飾られている10隻ほどの漁船から、海の安全と豊漁を祈願して、ミカン、小袋の菓子やアメ、小銭などがまかれ、洗米は一握りずつ手渡しされた。付近の住民たちが子どもらを連れて訪れ海辺はにぎわった。

漁にでるのは、七草が明けたころからで、今の時期はヒラメやサザエなどがとれるという。この地で30年以上漁をしている金宝丸の原幸雄さん（60）は、「去年は水温が高くて季節の魚があまりとなかった。今年は期待したい」と話していた。

2千5百人が墨彩画を鑑賞

「西松浚波の世界」の新春展

鎌倉市教委主催の「西松浚波の世界」07年新春半ヤラリーには7日間で2427人が、会場の鎌倉生涯学習センターを訪れた。

期間中、強い風雨に見舞われた1月6日は百人余だったが、4日の初日、最終日の10日は5百人前後でにぎわった。平均346人の入りで、新春展を楽しみにしている市民の多さをうかがわせた。

会期中、西松さんは会場で「時は永遠の影なり」のプラトンの言葉を墨書で揮ごうしたり、友人の着ているロングベストに、頼まれて即興で花をかいたりのセレモニーをした＝写真。

降雨の中、湯花神楽の神事

新春の大町・八雲神社で

新年を祝う初神楽が1月6日午後、鎌倉市大町の八雲神社（小坂周防宮司）で行われた。雨と強風のあいにくの天候だったが、近くの住民らが見守るなか、神事にのっとって神楽が奉納された＝写真。

神楽のうちの一つ、煮えたぎった大釜の湯を、神職が幣串で舞うようなしぐさでかきまぜる。そのあと笹竹で湯を四方に払う。大釜の沸騰する湯を花と見立てることから、湯花神楽ともいわれ、湯の立ち方でその年の占いもする。

拝殿では笛、太鼓の調べにのって天狗などの面をつけた剣舞、舞ながら四隅に矢を放つしぐさをする射払などの神楽が行われ、今年一年の息災、五穀の豊作を祈願した。

足・靴の悩み無料相談
大船ロビンフット靴店
靴が合わない、歩くと足が痛いという人は、「大船ロビンフット靴店」へ。無料足診断で、足を計測し、足の形状や健康状態を“カルテ”にして、ぴったりの靴を選んでくれます。
また、中敷きの製作や、靴の加工で、足と靴の悩みに応えてくれます。
こんな悩みはぜひ相談を
外反母趾、扁平足、タコ、ウオノメ、巻爪、ハンマートゥ、膝関節症、股関節症、腰痛、リウマチ・糖尿病・麻痺で履く靴がない。子どもがよく転ぶ。歩き方がおかしい。
婦人靴・紳士靴・子供靴と品揃えは豊富
営業時間／10時～19時
定休日／なし
大船駅東口徒歩3分
☎0467(42)6322
無料足診断券
“足のカルテ”プレゼント
ご利用時に掲示してください。
大船ロビンフット靴店
フォトスタジオ　スリーエフ　大船ロビンフット靴店　ゲームセンター　交番　ドラッグストア　マクドナルド　至横浜　大船駅　至藤沢

CHINESE-RESTAURANT
大切にします……「心」からのおもてなし。
中国料理　華正楼（かせいろう）
●鎌倉店／鎌倉長谷大仏前　☎0467(22)0280㈹　●横浜中華街／本店　☎045(681)2918㈹　新館　☎045(661)0661㈹

鎌倉駅より徒歩5分！
カドキホール
鎌倉の葬儀専用斉場
御成町3－5
下馬四ツ角そば
第1斉場（通夜、告別式使用料、棺、特上祭段付）
¥525,000
第2斉場（通夜、告別式使用料、棺、特上祭段付）
¥420,000
※写真引伸し、印刷、会葬御礼等は別途料金になります。
◎下馬四ツ角セブンイレブン隣りマイパーキング鎌倉駐車場に契約してございます。お車でお越しの方はご利用下さい。
TEL(0467)22－0562㈹

展示即売会場
2F貸画廊(75㎡)
3F貸教室
ギャラリー島森
●予約申込み・問合せ　☎0467(24)3160　島森商事㈱

本を通じ、皆様のお役に立ちたいと願っています。
雑誌・書籍・文具・事務用品・ファンシー
鎌倉駅東口前　☎0467-22-0266
大船駅東口前　☎0467-46-3841
東逗子マルエツ店内　☎046-871-0590
島森書店